

農業会議だより

発行：一般社団法人佐賀県農業会議



令和 8 年度の農業委員会改選で就任された新任女性委員の方々

後列：左から永石朱美(多久市)、岩崎千恵美(小城市)、橘高ちひろ(玄海町)、吉田智美(小城市)
永田陽子(みやき町)、松隈寿子(鳥栖市)、西山和枝(伊万里市)

前列：左から成富豊子(鳥栖市)、打越映子(唐津市)、古賀まち子(小城市)、藤木理子(小城市)
梶原久美子(多久市)、小池治代(多久市)

※敬称略

【内容】

1. 地域計画のブラッシュアップについて ～白石町の事例～
2. 農業会議臨時総会で新理事を選任
3. 農業委員会改選市町 新会長の紹介
伊万里市、基山町、上峰町、江北町、白石町
4. 農業委員会女性の登用要請活動
5. 佐賀県農業委員会女性協議会研修会を開催
6. SAGA Agri Woman Lab 開催 ～自分らしい農業・生き方を考える～
7. パソコンで学ぶ農業簿記講習会を開催しました
8. 頑張る農業者の紹介 白川製茶園 代表・白川稔さん(嬉野市)
9. 農業者年金の加入推進について
10. 全国農業新聞の普及推進、全国農業図書の紹介
11. 常設審議委員会の処理状況について
12. 今後の行事予定について

1. 地域計画のブラッシュアップについて ～白石町の事例～ 「農地集約マップ」で地域ぐるみの農地利用を考える

白石町では、「将来、農業者が大幅に減少する中で農地を守っていくためには農地を集約して効率化を図ることが必要」との考えから、将来の担い手の耕作エリアを設定する「集約マップ」の作成に取り組まれています。

同町では令和6年度に町内を9地区に分けて地域計画を策定されましたが、地域計画の区域は広く、農地一筆ごとの具体的な利用調整まで進めるには課題がありました。そこで昨年6月に県と同町が連携し、錦江（にしきえ）地域の辺田（へた）地区で集約マップの作成を進めることとなりました。

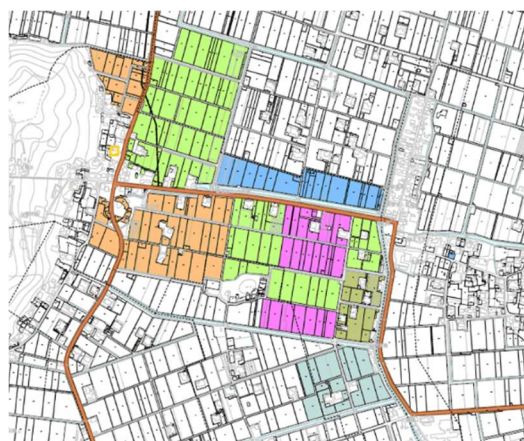


今後、農業者が大きく減少することが予想されており、耕作者に今より大きな面積を担ってもらわなければ農地が守れなくなるため、農地の集約を進め、効率化を図る必要があることを説明。参加者で将来の主要な担い手を絞り込み、担い手自身がどの辺りに農地を集めていきたいかを話し合いながら各々の耕作エリアを線引きし、集約マップを作成されました。

完成したマップは公民館に掲示するとともに、今年1月と5月に地権者説明会を開催。今後はできるだけマップに定められた耕作者に貸付けし、効率的な利用を図って地域の農地が守られるよう理解を求めました。

一方で、農地の形状や立地条件等から、担い手が耕作を敬遠する農地や所有者が地区外に居住している農地などもあり、さらに話し合いを進めることが重要となっています。

同町では、集約マップを地域共通の情報として共有し、「10年後、この農地を誰が耕作するのか」を地域全体で主体的に考えるためのツールとして位置づけられています。これにより、農地の集約化を加速させ、地域農業の振興へとつなげていくことを目指されています。



集約マップ

6経営体が農地を耕作する集約マップが完成しました。



令和7年度に嬉野市、江北町、白石町がモデル地区として先行して取組み、令和8年度以降は全市町で集約マップの作成に取り組めます。

2. 農業会議臨時総会で新理事を選任

8月21日に農業会議の臨時総会を開催し、理事が選任されました。

所 属	役 職	氏 名
伊万里市農業委員会	会長	市丸 道雄
佐賀県農業協同組合中央会	代表理事会長	楠 泰誠
佐賀県農業共済組合	組合長理事	澁谷 喜壽
佐賀県農業協同組合	代表理事副組合長	古賀 幸太郎
佐賀県農業委員会女性協議会	—	中山 敬子

3. 農業委員会改選市町 新会長の紹介

7月に県内12市町で農業委員の改選が行われ、伊万里市、基山町、上峰町、江北町、白石町で新会長が就任されました。



伊万里市 市丸 道雄 氏

農業委員会会長としての責任の重さを感じています。中山間地域が多い伊万里市において、農業委員と推進委員が連携を深め、農地パトロールによる遊休農地の発生防止・解消に力を入れるなど農地利用の最適化に努めてまいります。



基山町 松野 孝敏 氏

農業を取り巻く環境が大きく変化する中、農業委員会の役割はますます重要になっています。我が町では開発が進む中、農地を守る立場として、地域農業の課題に向き合い、農地を守り次世代へつなぐ農業委員会活動に取り組んでまいります。



上峰町 平井 繁利 氏

会長としての職務の重大さに身が引き締まる思いです。上峰町農業の発展とともに、農業者の皆様の期待に応えられるよう誠心誠意努めてまいります。農業委員と推進委員が力を合わせ、農地利用の最適化と公正な農地行政の推進に全力を尽くす所存です。



江北町 井上 勝則 氏

農業の担い手不足など地域農業には様々な課題があります。農業委員が力をあわせて、農地の集約化による農地利用の最適化を進めるとともに、農業者の皆さんに寄り添った活動に努めてまいります。



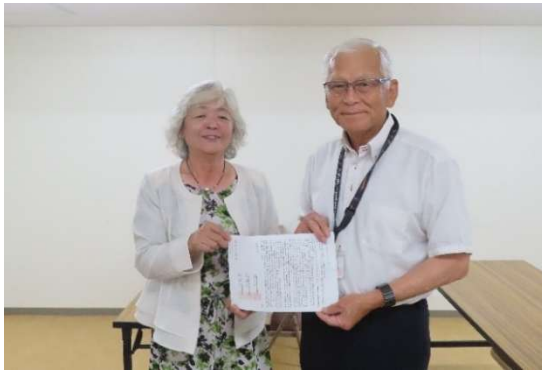
白石町 松尾 利助 氏

農業の担い手が減少する中、農地を守り、次の世代へつないでいくことが農業委員会の重要な役割だと考えています。農地の集約化により一層力を入れ、白石町農業の発展に向けて誠心誠意取り組んでまいります。

4. 農業委員会女性委員の登用要請活動

佐賀県農業委員会女性協議会（会長：岩橋久美）は、女性農業委員・推進委員の登用促進を図るため、7月16日、令和9年度に改選を迎える佐賀市・武雄市・嬉野市・有田町の市町長等を訪問し、女性委員登用の要請と意見交換を行いました。

女性農業委員3割目標の達成に向け、まずは「女性委員現状プラス1名」の登用を各市町長にお願いしました。また、地区をはじめJA女性部や女性農業者グループなどからの推薦依頼や、女性委員が活動しやすい環境づくりへの協力を求めました。



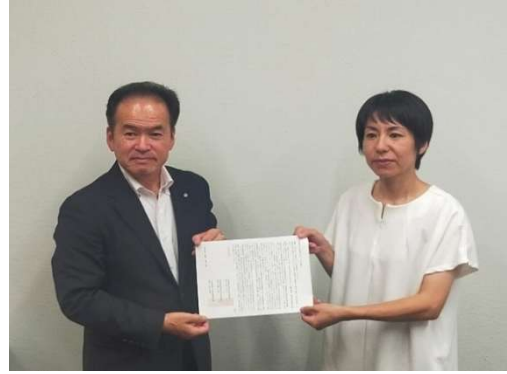
佐賀市農業委員会 大園会長



武雄市 小松市長



嬉野市 山口市長



有田町 鷺尾町長

【市町長等との意見交換の内容】

- 若い女性農業者の育成が重要であり、委員候補として成長できる環境づくりが必要と考えている。
- 日頃から女性農業者との関係づくりを進めることが登用の鍵になる。
- JA女性部や生産組合など幅広い関係者から候補者の情報を収集したい。
- 女性登用は、多様な視点の反映や地域活性化につながると考えている。
- 女性比率30%は組織改革につながる重要な目標「まずは現状プラス1名」に向けて努力したい。
- 女性委員の存在は、農地相談や相続問題などで女性農業者が相談しやすいと聞いている。
- 女性委員が増えることで、委員会の雰囲気や意識の改善が期待できる。

5. 佐賀県農業委員会女性協議会研修会を開催

佐賀県農業委員会女性協議会（会長・岩橋久美、会員 58 人）は、8 月 25 日の総会終了後、本年度の改選で新たに選任された女性委員を迎え、小城市「芦刈保健福祉センター」で研修会を開催しました。

今回、新たに 18 名の女性委員が選任され、研修会では 7 班に分かれてグループワークを行いました。自己紹介をはじめ、農業委員に選任された経緯と農地利用の最適化活動や日常相談活動など、女性委員ならではの視点を生かした活動事例が紹介され、活発な意見交換を行いました。

また、来年度に改選を迎える 4 市町への女性委員の登用要請活動について、役員から活動結果が報告されました。

女性協議会では、今回の研修で得られた情報や委員同士のつながりを今後の活動に活かし、地域に寄り添った相談活動の充実と、女性委員のさらなる登用促進に取り組んでいきます。



佐賀県農業委員会女性協議会の会員

6. SAGA Agri Woman Lab 開催 ～自分らしい農業・生き方を考える～

県内の女性農業者や就農希望者が交流し、自分らしい農業経営や働き方について学ぶ「SAGA Agri Woman Lab」が7月25日、佐賀市「SAGA アリーナ」で開かれました。「SAGA×Woman EXPO 2026」と同時開催され、若手からベテランまで幅広い世代の女性農業者が参加し、講演やパネルディスカッションを通じて、それぞれの思いや課題を共有しました。



パネルディスカッションの様子

講演では、農業女性のウェルビーイングに取り組む長野県(株)新海ファームの新海智子氏が「明日からの農業が楽しみになる」をテーマに、仕事と家庭の両立や、“幸せに働く”ための経営のヒント等を紹介されました。また、パネルディスカッションでは日頃の悩みや将来の目標を語り合い、参加者は「同じ立場の農業者と交流でき励みになった」「新たな視点を得ることができた」と語っていました。

続くワークショップでは、「明日からの農業が楽しみになる」をテーマに意見交換。参加者からは「同じ悩みを持つ仲間と話ができ前向きになれた」「女性同士だからこそ本音で語り合えた」といった声が聞かれました。



ワークショップの様子

「今日の出会いや学びを今後の経営や地域活動につなげ、佐賀の農業を女性の力でさらに盛り上げていこう」と参加者同士で決意を新たにしました。

今回の交流会を通じて築かれたネットワークを活かし、女性農業者同士の連携や新たな挑戦につながる取組みが期待されています。

7. パソコンで学ぶ農業簿記講習会を開催しました

農業会議（会長・大園敏明）では、農業経営者の経営改善や発展を目的にパソコンを使った複式農業簿記講習会を佐賀県農業大学校で開催しました。

今年度は7月31日から8月28日までに、全5回の日程で実施。市町農業委員会や地域農業振興センター等を通じて参加を呼びかけ、23人が受講しました。

講習では、初回に複式簿記の基礎について学んだ後、2回目以降は簿記ソフトを活用しながら期首貸借対照表の作成、日常取引の仕訳、決算修正等を行い、最終回には、決算書と確定申告書についての講習を行いました。

参加者からは、「分かりやすく教えてもらいよかった」「今後の農業経営に役立てたい」といった声が寄せられ、農業経営に必要な簿記の知識を身につける講習会となりました。

農業会議では、今後も農業簿記の記帳支援に取り組み、農業者の皆さんの経営改善を応援していきます。



農業簿記講習会の様子

経営に役立つ農業簿記関係テキスト



規格 B5判・161頁
定価(税込) 1,705円



規格 A4判・176頁
定価(税込) 3,300円



規格 B5判・約180頁
定価(税込) 1,100円

※令和8年9月末刊行予定

8. 頑張る農業者 嬉野市 白川製茶園 代表・白川 稔さん ～親子で挑む“日本一の茶づくり”～

嬉野市の山あい広がる白川製茶園は、四代続くお茶農家として地域の茶づくりを支えてきました。代表の白川稔さんは、蒸し製玉緑茶の名匠として全国的に知られ、全国茶品評会では最高賞である「一等等一席（農林水産大臣賞）などを複数回受賞。嬉野市が誇る“うれしの茶”ブランドの中心的存在です。



白川製茶園では、かつお節や海藻エキスを使った独自配合の肥料で育てられています。旨味と香りを引き出す土づくりにこだわり、栽培から製茶まで一貫管理することで高品質な嬉野茶を生み出しています。

白川製茶園は、同市を中心に鹿島市や太良町の茶園約 12.5 ha を管理し、嬉野茶では大規模経営の代表格です。

全国茶品評会では、白川さんと長男・天翔さんが親子で上位入賞を果たすなど次世代への技術継承も進んでいます。



白川製茶園は、伝統の技と新たな工夫で嬉野茶の品質を守り続けています。親子で挑む茶づくり、地域とともに歩む姿勢は、嬉野市が“全国有数の茶産地”として輝き続ける原動力となっています。

9. 農業者年金の加入推進について

市町名	目標	6月	7月	合計	達成率	達成まで
佐賀市	7	0	4	8	114%	達成
唐津市	9	0	1	2	22%	7
鳥栖市	1	0	0	0	0%	1
多久市	1	0	0	1	100%	達成
伊万里市	3	0	0	0	0%	3
武雄市	1	0	0	1	100%	達成
鹿島市	2	0	0	2	100%	達成
小城市	2	0	0	1	50%	1
嬉野市	2	0	1	1	50%	1
神埼市	2	0	0	0	0%	2
吉野ヶ里町	1	0	0	0	0%	1
基山町	1	0	0	0	0%	1

市町名	目標	6月	7月	合計	達成率	達成まで
上峰町	1	0	0	0	0%	1
みやき町	1	0	0	1	100%	達成
玄海町	2	1	0	1	50%	1
有田町	1	0	0	0	0%	1
大町町	1	0	0	0	0%	1
江北町	1	0	0	0	0%	1
白石町	6	4	0	5	83%	1
太良町	2	0	0	0	0%	2
計	47	5	6	23	49%	24

20～39歳	34	2	4	14	41.2%	20
女性	29	2	0	6	20.7%	23

日頃より農業者年金の加入推進にご協力いただきありがとうございます。

各市町の新規加入状況は上表のとおりです。7月末時点で全体の目標達成率は既に49%で、11市町では残り1名で目標達成となっています。

12市町の農業委員会では新体制がスタートされました。新任委員の方々は、これからの委員活動や研修会等を通じて、農業者年金の制度や加入推進についてご理解いただき、**1人でも多くの方に農業者年金を知ってもらうことが重要です。**農業者年金の加入推進は農業委員会業務の一つです。ご協力をお願いします。

◎令和8年度農業者年金加入推進特別研修会を開催

農業者年金基金・JA中央会・当会議の共催で、7月28日に佐賀市において「令和8年度農業者年金加入推進特別研修会」を開催し、加入推進部長、農業委員・推進委員、担当職員等約100名が参加されました。

講演では、社会保険労務士の北村彩氏（社会保険労務士ふじ事務所）が、老後資金の備えの重要性を交えながら農業者年金のメリットなど説明。自身のライフプランや健康状態に合わせた貯蓄、投資、年金といったプラスアルファの備えが必要で、**農業者であれば農業者年金というメリットが多い選択肢があることは、非常に有利**と話されました。

参加者からは「老後の備えとして農業者年金はメリットが多いことを対象者にしっかり伝えたい」などの声が聞かれました。

また、令和7年度農業者年金理事長賞の表彰も行われ、白石町農業委員会とJAさががそれぞれ3部門で受賞され、表彰状と記念品が授与されました。



白石町農業委員会：新規加入者部門第5位、新規加入者（女性）部門第2位、目標達成度合い（目標数5～9人）部門第3位
JAさが：新規加入者部門第2位、新規加入者（20～39歳）部門第3位、新規加入者（女性）部門第4位



左から農業者年金基金田村理事、白石町農業委員会、JAさが

10. 全国農業新聞の普及推進、全国農業図書館の紹介

○全国農業新聞の普及推進

**改選市町は、退任委員の継続購読と新任委員の
早期皆購読をお願いします！**

ありがとうございました

みやき町農業委員会

退任委員の継続購読と新任委員の皆購読で**目標達成！！**

令和8年9月現在

市町名	目標	部数	目標達成 まで	委員 未購読数
佐賀市	187	129	58	5
唐津市	130	104	26	0
鳥栖市	55	28	27	0
多久市	53	31	22	11
伊万里市	80	47	33	13
武雄市	83	63	20	0
鹿島市	75	53	22	1
小城市	89	86	3	6
嬉野市	64	46	18	4
神埼市	74	54	20	2

市町名	目標	部数	目標達成 まで	委員 未購読
吉野ヶ里町	37	30	7	0
基山町	23	15	8	10
上峰町	19	13	6	6
みやき町	41	48		0
玄海町	32	25	7	0
有田町	37	28	9	2
大町町	20	14	6	0
江北町	37	25	12	6
白石町	68	48	20	19
太良町	46	30	16	0
農業会議	100	93	7	
	1,350	1,010	340	85

「全国農業新聞」を是非ご購入をお願いします！！

農業委員会組織では、全国農業委員会会長大会の決議に
基づき、農業委員・推進委員全員に「全国農業新聞」を
購読いただく活動に取り組んでいます。



全国農業新聞は、農地利用最適化活動や地域計画のブラッシュアップなど
各委員が地域で活動に取り組む上で参考になる情報が満載されています。
また、農業者に役立つ最新の技術や先進農家の取り組み等を紹介しています。

推進する立場の農業委員・推進委員の皆購読をお願いします

○全国農業図書

2026 年度版 農家相談の手引

農地・経営対策に役立つ！支援制度の資料集！

農業委員・農地利用最適化推進委員をはじめとした地域農業のリーダーなどが、農業者から相談を受ける際に制度や施策の要点について説明するために活用できる資料集です。

各種研修会のテキストとして、農業に関するさまざまな制度を学ぶ手引書として幅広く使用できる、多くの情報をわかりやすくまとめています。【税込 880 円】



令和 8 年度版 農業の税制 農家のためのなんでもわかる

農家のためのなんでもわかる！

「税金は難しい」と思っている農業者・農業関係者が多いようです。

しかし、農業経営に関係する税制のすべてが必要となるわけではありません。税制を理解して適切な納税に努めることは、農業経営の確立・経営管理の高度化にとって、今後ますます重要になると考えられます。

本書は、第 1 部で農業収入や農地等に係る所得税、法人税、相続税、贈与税、消費税から国民健康保険税まで農業者に関係の深い 19 の税金について、文字通り「なんでもわかる」よう、あらましと各種の特例措置など最新の税制を網羅。第 2 部では農地税制などについて Q & A 方式で、実践的な質問に丁寧に答えています。【税込 1,540 円】



Q&A 農業法人化マニュアル 新訂版

法人化に関する疑問を一問一答形式で

農業経営の法人化を志向する農業者を対象に、法人化の目的やメリット、設立の仕方、法人化に伴う税制や労務管理上の留意点などの疑問に一問一答形式で答える手引書です。

法人関係の諸制度や税金・社会保険料などを更新したほか、A5 判としたことでさらに使いやすい冊子としております。

【税込 1,210 円】



11. 常設審議委員会の結果について（7月・8月）

農地法第4条及び第5条の規定により県農業委員会ネットワーク機構（佐賀県農業会議）に意見を求められた案件について、常設審議委員会で審議されました。

第124回、第125回の件数及び面積については、下表のとおりです。

<農地法関係処理状況>

【審議件数】

回数	期日	区分	件数
第124回	7月15日	第4条	0
		第5条	9
第125回	8月17日	第4条	0
		第5条	4

【田畑別件数及び面積（㎡）】

回数	期日	区分	田		畑		計	
			件数	面積	件数	面積	件数	面積
第124回	7月15日	第4条	0	—	0	—	0	—
		第5条	9	53,454	3	1,609	9	55,063
第125回	8月17日	第4条	0	—	0	—	0	—
		第5条	4	23,246	1	225	4	23,471

7月15日 第41条 1件 998㎡

※田・畑混合の案件があるため、件数の計が一致しない。

12. 今後の行事予定について

月	日	時間	場 所	内 容
9	9	13:30	鹿島市民文化センター	農業委員・農地利用最適化推進委員研修会（西部）
	10	13:30	上峰町民センター	農業委員・農地利用最適化推進委員研修会（東部）
	15	13:30	グランデはがくれ	第126回常設審議委員会
	15	15:00	グランデはがくれ	市町農業委員会会長会議
	17	13:30	芦刈保健福祉センター	農業委員会職員研修会（AI活用） Web併用
10	15	13:30	芦刈保健福祉センター	第127回常設審議委員会 Web併用
	20	13:00	ビジョンセンター東京京橋	農業委員会職員全国研究会
11	16	13:30	芦刈保健福祉センター	第128回常設審議委員会 Web併用
	18	14:00	レンブラント大分	九州ブロック農業委員会女性委員研修会（1日目）
	19	9:00	レンブラント大分	九州ブロック農業委員会女性委員研修会（2日目）
12	1	13:00	文京シビックホール	全国農業委員会会長代表者集会
	2	9:00	国会議員会館	国会議員への要請活動
	2	13:00	銀座ブロッサム中央会館	農業者年金加入推進セミナー
	15	13:30	グランデはがくれ	第129回常設審議委員会
	15	15:00	グランデはがくれ	市町農業委員会会長会議

※8月末時点の予定ですので変更もあります。

ご予約お願いします！！

**7月8日(水)に小城市芦刈町の小城市芦刈保健福祉センター
ひまわり内に事務所を移転しました。**



住所 〒849-0314 小城市芦刈町三王崎1522番地
芦刈保健福祉センター内
電話 0952-20-1810 FAX 0952-20-1818
メール sanoukai@sanoukai.jp

